



## 夏だからこそ考える

### あ～！夏休み！

夏だ！夏休みだ！あ～夏休み！と浮かれたくなるかもしれませんが、今後のことを考えれば、部活動だけでなく学習活動、地域の活動、自分自身の趣味などなど、やるべきことはたくさんあります。各自でしっかりと計画を立てて、有意義に過ごせるようにしましょう。



一つだけ、警告。一日さぼると取り戻すのに3日かかります。1学期中せっかく積み上がった学修経験が吹き飛びます。30日サボってみればわかるとまでは言いませんが、仮にやってしまった場合、もどに戻るのには90日後です。

### 1. 幸せに暮らそうぜ！

高校卒業後の進路…あなたは、今どのように考えていますか？就職ですか？専門学校ですか？大学ですか？勉強ができるから、大学ってことではありませんよ。もう少し、先のことを考えてみてください。10年後、20年後、あなたがどうなっていたら幸せな生活ができていくかってことです。将来やってみたいことが、高校卒業後に就職した方がいいのか、専門学校に進学した方がいいのか、大学に進学した方がいいのかということです。いくつか選択肢があって、決めかねているのであれば、その選択肢に有利な進学先などを目指しましょう。

以下で大まかに説明しますので、参考にして、君たち自身でもいろいろ調べてみてください。

### 2. 就職…高校卒業後すぐキャリアを積み重ねたい！

就職の場合、『この道でやっていくんだ』という覚悟が必要です。さらに公務員など試験を科される場合は、試験科目は高等学校一般教養ですが、実際は英国数理社の5科目であることが多いです。遅くとも、高2から準備を始めないと3年生の9月に実施される試験に間に合いません。本校では、区・市・都道府県職員よりは、自衛隊、消防官、警察官がほとんどで、まれに海上保安官を志願する者が多くいます。実際、大卒も含め、本校出身者が警視庁に20名、東京消防庁に15名勤務しているそうです。



### 3. 専門学校…資格をとって活かす！

専門学校と大学の違いって？わかってます？一応、簡単に説明すると、大学は新しい知識や技術を追求・研究するところで、専門学校は既存の知識や技術を修得するところです。例えば、経営・ビジネス

の分野でも伝統と格式を重んじるホテル業界などでは専門学校、新たに起業したいなんて考えている場合は新しいことに挑戦するわけですから大学、となります。理容、美容、調理などは新たな技術はまず不要です、まさか化学合成とかすることは、まずありませんよね。



### 4. 大学進学…文系？理系？ 学部は学科は？

大学を目指す！OKがんばれ！勉強しなさい！オープン・キャンパスに行きなさい！

文系・理系・医歯薬看護系、あなたが目指すのは？もしかして、〇〇大学ならば、どの学部でもいいから、〇〇大学生になりたいとか考えている人いますか？文系の法学部、経済学部、経営学部、商学部ならば割合就職先に大きく差はありません。しかし、理系の場合はそうはいきません。理工学部建築学科に行ったものの、実は新しい素材の研究がしたいとか、情報工学をやり



りたいとか方向性を変えるには他学科に編入するしかありません。一度、オープン・キャンパスに参加して、授業体験しましょう！大学卒業後の展望も質問してみましょう。実際に体験しましょう、これだ！と思ったら意志を固めて目指しましょう。1年生ならば、文系か理系かは最低でも、この夏休み中に方向性を決めましょう。2年生ならば学部学科の絞り込みができていくといいと思います。3年生はもう受験直前だし、既に決まっていますよね。



最後に、夏期休業中、自分で使える自由な時間があったら、10年後、20年後どうしていたら幸せか真剣に考えてください。そして、それに向けて行動してください。ただ漫然と自分は何者なのかと考えることが自分探しだと思っているだけでは時間の無駄です。事実、これを書いている私自身、自分が何者かいまだにわからないのですから。Don't try to find yourself. Create Yourself!!



## 受験の夏、どう過ごす？

夏は受験戦争の天王山と言われます。天王山というのは羽柴秀吉が明智光秀を破った山崎の戦いにおいて勝敗を分ける要地とされており、現代でも勝敗を分けるような重要な局面を「天王山」と称すことがあります。

実際の山崎の戦いでは天王山自体は重要ではなく、そもそも開戦前に勝つための算段をつけていた秀吉が勝利したわけですが、これは受験戦争においても同じことが言えます。夏を迎える前の段階で勝つための算段をつけておくことが重要です。文系であれば英単語や古文単語、各種文法、通史に関する基本用語、理系であれば英単語や文法、各種公式などが夏前の段階でしっかりと身につけておき、夏のう



ちに実践演習を重ねられるかどうか、秋以降、入試問題演習に効果的に取り組めるかに関わってきます。もし、必要な基本事項が身につけていないのであれば、遅くとも7月中に身につけられるように計画的に取り組みましょう。

また、受験戦争は単なる学力の差を競うものではありません。山崎の戦いで秀吉が勝利できたのは天王山を制したからではなく、事前に周辺の武将を味方に引き入れて兵力を整え、十分な休息や補給を行ったからです。これは受験戦争においても同じことが言えます。まず、十分な睡眠時間を確保しましょう。遅くとも0時には就寝し、7時か8時には起床する生活リズムを確立しなくてはなりません。「ぼくは夜型だから」と遅寝・遅起きで勉強する人がいますが、夜に入試はありません。また、人間は起床してから本来のスペックを發揮するまでに2時間程度かかると言われています。例えば共通テストの1限は9:30からはじまるので7:30には起床している必要があります。そこから8時間睡眠を逆算すると、やはり0時前には就寝していないといけません。知識は睡眠中に定着するという研究もあるので、睡眠時間を削って勉強するのは時間の無駄です。

今まで計画的に学習を進めてこなかった人は当然、焦りがあるでしょうし、今まで計画的に学習を進めてきた人も、先が見えているだけに焦りがあるでしょう。しかし、焦っても仕方がありませんし、近道や裏技のようなものもありません。十分な睡眠・休養・食事をとり、基本的な学習内容を完璧に仕上げ、着実に確かな学力を身につけていきましょう。8月27日の模擬試験で成長が実感できることを願っています。



## ☆夏期休暇生活・学習チェックリスト

- 毎朝8時には起床している  毎日朝食をとっている
- 午前中に学習時間を確保している  昼食休憩は1時間以内におさめている
- 計画に基づいて学習している  科目に偏りなく学習をすすめている
- ながら勉強をしていない（音楽・スマホ・TVなど）
- 午睡をとるときは目覚ましをかけ、15分程度にしている
- 10時間程度自習時間を確保できている（学校・予備校の授業を除く）
- 毎晩0時には就寝している

## 使えるのがスマホだけだと……

ちょっと前の話ですが、「今の大学生はパソコンが使えない」という記事を目にしました。若い人はいわゆる「デジタル・ネイティブ」と言われ、生まれた時から自分の身の回りにデジタル機器があった人たちですから、若い人ほどデジタル機器の扱いには慣れているものだと思います。

ところが、記事を読み進めると、「スマホは使えて、ネットは使えるけど、キーボードが叩けない」というのです。つまり、ワープロが使えないということになります。確かにスマホの文字入力「フリック」と言われる入力の仕方なので、普通のPCで使うQWERTYキーボード、つまり日本だとJISキーボードの使い方に慣れていないというのです。

社会に出ればワープロを使う機会は非常に多くなりますし、ワープロだけでなく表計算ソフトやプレゼンソフトといったものも使いこなさなければなりません。つまり、いつまでもスマホやタブレットだけではだめだということです。

PCのキーボードがなかなか早く打てないという人は、夏休みのようなときに一週間でいいので、毎日キーボードを練習してみてください。ホームポジションといわれる「F」と「J」のところに人差し指を置き、そこから一本の指にキー一つを割り当てていきます。一本の指がその上下もカバーするようにして、なるべくホームポジションから指を離さないようにしながら、アルファベットのAからZまでを繰り返し打っていきます。これを繰り返すだけで、キーの位置がだんだん頭に入っていきます。慣れてきたら、なるべくキーボードを見ないで打てるようにします。それだけで案外早く打てるようになるものです。日本語の場合、入力モードは「ローマ字入力」か「かな入力」になるとと思いますが、手取り早く覚えるなら「ローマ字入力」になるでしょう。

少し早く打てるようになってきたと思ったら、ネットで「タイピング練習」で検索してみましょう。タイピング練習ができるサイトはかなりたくさんあります。それを使って練習すれば、この夏に「ブラインドタッチ」（キーボードを見ないで打てること）ができるようになるのも夢ではありません。

大学入試も今はネット出願が当たり前。大学に入ったらレポートはほとんどがワープロを使わなければなりません（あえてそうしない先生もいるとは聞きますが……）。今のうちにマスターしておくのもいいと思いますよ。



## トピックス



進路指導室前には、大学案内が山積みになっています。これは大学からのご厚意で送ってもらったものです。ただ積んであるだけでは意味がありません。生徒に活用してもらってこそのもので、自由に持って行っていただいて構いません。「志望大学が決まっていないから（持って行かない）」という人もいるかもしれませんが、大学がどういうところなのかを知るだけでも大きな意味があります。とりあえず目に留まったものを持って行って家でじっくり見てみることをお勧めします。時期がきたら廃棄しなければならぬものなので、できるだけ多くの皆さんに役立ててほしいと願っています。



最近の若い人は、時間の節約なのか映画や動画を1.5倍速（もしくはそれ以上）で見る人が多いのだそうで、再生速度を速めるとどうなるのか私も試してみました。確かに時間は短縮できますし、かつてのアナログでよくあったピッチ（音程）の変化もデジタルのおかげで少なく、確かに見られないことはないと思いました。しかしその一方で、どうしてもセリフが早回しになっているところは否めず、場面によっては早口言葉の連続のように聞こえてしまいました。人によって感じ方、考え方は違うとは思いますが、私自身は例えば映画の場合、役者の声も重要なキャラクターの一つだと思っているので、それには当然「セリフ回し」というものも関わってきます。見る側に意図的にそれが歪められるような形で早回しされてしまったり、役者のキャラクターの一つが阻害されてしまうのではないかと、懸念してしまいました。もし早回しで見るのが日常になっている人は、作り手がベストと思って作っている長さを縮めてしまわず、それに合わせてみるという姿勢も時には必要なのではないのでしょうか。ちなみに、私は役者の声が必要なキャラクターの一つだと言いましたが、その理由で「吹き替え」はあまり好きではありません。